発信人 日本国特許庁(国際調査機関)

出願人代理人	HECTO 11 AUG 2005
. 商田 守	WIPO PCT
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	WIPO PCT
あて名	
〒160-0007	PCT
alternate data that the proceedings have a constraint.	国際調査機関の見解書
東京都新宿区荒木町20番地 インテック88ビル5階	(法施行規則第40条の2) {PCT規則43の2.1}
特許業務法人 高田・髙橋国際特許事務所	(FC1363)43V2.1)
1441 News 1954 1951 1951 1951	発送日
	(日.月.年) 09. 8. 2005
出願人又は代理人 の告類記号 552779WO01	今後の手続きについては、下記2を参照すること。
FETTING ILLINGS OF FETTING IN	Not the CI
国際出願番号 PCT/JP2004/015579 (日.月.年) 21. 1	優先日 02004 (日.月.年)
ГСТ/ 11 2004/ 0133/3 (н. х. т/ 21. 1	02.0 0 g (H.77. +7
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' B66B 1/18	·
出願人(氏名又は名称)	·
三菱電機株式会社	
1. この見解書は次の内容を含む。	•
X 第1欄 見解の基礎	
第Ⅲ棚 優先権	·
第皿欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可	能性についての見解の不作成
第IV欄 発明の単一性の欠如	
	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、
それを裏付けるための文献及び説明	
第VI欄 ある種の引用文献	
第VII棚 国際出願の不備	•
第222 第222 第222 第222 第222 第222 第222 第22	∵ .
2. 今後の手続き	
国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際部 際予備審査機関がPCT規則66.102(b)の規定に基づいて	明査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 「国際調査機関の見解音を国際予備審査機関の見解書とみなさ
ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見	2解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。
	L-L
この見解音が上記のように国際予備審査機関の見解番とめ	xなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か 5期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当
な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる	
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照す	
the second secon	A POTT ALL NO. IN .
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考をも	● 第十ること。
見解告を作成した日 21.07.2005	
DATE TO LET	特許庁審査官(権限のある職員) 3F 9528
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP)	志水裕司
郵便番号100-8915	
東京都千代田区館が関三丁目 4 番 3 号	電話番号 03-3581-1101 内線 3351

第1棚 見解の基礎	
1. この見解符は、下	下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。
□ この見解街は それは国際調	、 語による翻訳文を基礎として作成した。 査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。
2. この国際出願で開 以下に基づき見解	引示されかつ韵求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 Ar告を作成した。
a. タイプ	配列表
	■ 配列表に関連するテーブル
b. フォーマット	■ 書面
	□ コンピュータ読み取り可能な形式
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる
•	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された
3.	列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出 頚時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
た配列が出題 あった。	列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出 資時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出。
た配列が出席	列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出 資時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
た配列が出題 あった。	列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出 類時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
た配列が出題 あった。	列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出 類時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
た配列が出題 あった。	列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出 質時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
た配列が出題 あった。	列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出 質時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
た配列が出題 あった。	列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出 類時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
た配列が出題 あった。	預時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
- た配列が出版 あった。 4. 補足意見: /	預時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
- た配列が出題 あった。 4. 補足意見: ,	領時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
- た配列が出題 あった。 4. 補足意見: ,	資時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
- た配列が出題 あった。 4. 補足意見: ,	資時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出
- た配列が出題 あった。 4. 補足意見: ,	領時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/015579

見解			
新規性 (N)	湖求の範囲 <u>1</u> 湖求の範囲	-4	
·			
進歩性 (IS)	請求の範囲		
•	請求の範囲 1	-4	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1	— 4	· 1
	請求の範囲		
			•
文献及び説明		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
文献1:JP 2002-22016	3 A (三莞領機株式会社)	. 2002 08 06	
文献2:JP 6-329344 A			11.29
文献3:JP 2001-24351			
文献4:JP 2004-25019			
文献5:JP 2002-22017	7 A (三菱電機株式会社)	2002. 08. 06	
請求の範囲1			
請求の範囲1に記載された発明は、国	際調査報告で引用された文庫	献1 (段落番号0010-001	7及び図1-
O A F for (7) T and the o (G) the of			
		図1ー6参照)並びに文献3(段	落番号002
8-0053及び図1-5参照) より	進歩性を有しない。		
8-0053及び図1-5参照) より 特に、上記文献2には、エレベータの	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段に	ついて記載されており、ここで、	
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段に を有することは、周知技術	ついて記載されており、ここで、 である。	
8-0053及び図1-5参照) より 特に、上記文献2には、エレベータの	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段に を有することは、周知技術	ついて記載されており、ここで、 である。	
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段に を有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手	ついて記載されており、ここで、 である。 変について記載されている。	エレベータの
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の施囲2に記載された発明は、上 より進歩性を有しない。	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段に を有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手	ついて記載されており、ここで、 である。 変について記載されている。	エレベータの
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の施囲2に記載された発明は、上	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段にを有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手 がまな就1万至3及び国際調	ついて記載されており、ここで、である。 改について記載されている。 査報告で引用された文献4(要約)	エレベータの
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の施囲2に記載された発明は、上 より進歩性を有しない。 請求の範囲3-4	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段にを有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手 がまな就1万至3及び国際調	ついて記載されており、ここで、である。 改について記載されている。 査報告で引用された文献4(要約)	エレベータの
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の範囲2に記載された発明は、上 より進歩性を有しない。 請求の範囲3-4 請求の範囲3-4に記載された発明は	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段にを有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手 がまな就1万至3及び国際調	ついて記載されており、ここで、である。 改について記載されている。 査報告で引用された文献4(要約)	エレベータの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の範囲2に記載された発明は、上 より進歩性を有しない。 請求の範囲3-4 請求の範囲3-4に記載された発明は	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段にを有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手 がまな就1万至3及び国際調	ついて記載されており、ここで、である。 改について記載されている。 査報告で引用された文献4(要約)	エレベータの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の範囲2に記載された発明は、上 より進歩性を有しない。 請求の範囲3-4 請求の範囲3-4に記載された発明は	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段にを有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手 がまな就1万至3及び国際調	ついて記載されており、ここで、である。 改について記載されている。 査報告で引用された文献4(要約)	エレベータの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の範囲2に記載された発明は、上 より進歩性を有しない。 請求の範囲3-4 請求の範囲3-4に記載された発明は	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段にを有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手 がまな就1万至3及び国際調	ついて記載されており、ここで、である。 改について記載されている。 査報告で引用された文献4(要約)	エレベータの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の範囲2に記載された発明は、上 より進歩性を有しない。 請求の範囲3-4 請求の範囲3-4に記載された発明は	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段にを有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手 がまな就1万至3及び国際調	ついて記載されており、ここで、である。 改について記載されている。 査報告で引用された文献4(要約)	エレベータの
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の施囲2に記載された発明は、上 より進歩性を有しない。 請求の範囲3-4 請求の範囲3-4に記載された発明は	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段にを有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手 がまな就1万至3及び国際調	ついて記載されており、ここで、である。 改について記載されている。 査報告で引用された文献4(要約)	エレベータの
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の施囲2に記載された発明は、上 より進歩性を有しない。 請求の範囲3-4 請求の範囲3-4に記載された発明は	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段にを有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手 がまな就1万至3及び国際調	ついて記載されており、ここで、である。 改について記載されている。 査報告で引用された文献4(要約)	エレベータの
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の施囲2に記載された発明は、上 より進歩性を有しない。 請求の範囲3-4 請求の範囲3-4に記載された発明は	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段にを有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手 がまな就1万至3及び国際調	ついて記載されており、ここで、である。 改について記載されている。 査報告で引用された文献4(要約)	エレベータの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
8-0053及び図1-5参照)より 特に、上記文献2には、エレベータの 制御装置において、行先階床表示手段 また、上記文献3には、セキュリティ 請求の範囲2 請求の範囲2に記載された発明は、上 より進歩性を有しない。 請求の範囲3-4 請求の範囲3-4に記載された発明は	進歩性を有しない。 群管理装置及び表示手段にを有することは、周知技術 ゲート及び在館人数計測手 がまな就1万至3及び国際調	ついて記載されており、ここで、である。 改について記載されている。 査報告で引用された文献4(要約)	エレベータの

10581456

PATENT COOPERATION TREATY

From the	•					RANGE
INTERN	ATION	NAL SEARCHIN	G AUTHOR	ITY .		
То:						PCT PCT
						RITTEN OPINION OF THE IONAL SEARCHING AUTHORITY
				·		(PCT Rule 43bis.1)
					Date of mailing (day/month/year)	
Applicar	nt's or a	gent's file referenc	e.	,	FOR FURTHER	ACTION
552	779V	1001				See paragraph 2 below
ŀ	-	plication No. 2004/0155	579	International filing date 21.10.2004	(day/month/year)	Priority date (day/month/year)
Internati	onal Pa	tent Classification	(IPC) or both	national classification an	d IPC	
Applicar	ni					
MIT	SUB:	ISHI DENI	(I KABU	JSHIKI KAISH	A	
1.	This c	pinion contains in	dications rela	ting to the following item	s:	
İ	\boxtimes	Box No. I	Basis of the	opinion	•	
		Box No. II	Priority			
		Box No. III	Non-establi:	shment of opinion with re	gard to novelty, invent	ive step and industrial applicability
ļ ,		Box No. IV	Lack of unit	ty of invention		
	$\overline{\boxtimes}$	Box No. V	Reasoned st		:. I(a)(i) with regard to ons supporting such sta	novelty, inventive step or industrial tement
		Box No. VI	Certain doc	uments cited		
		Box No. VII	Certain defe	ects in the international ap	plication	
		Box No. VIII	Certain obse	ervations on the internatio	onal application	
2.		THER ACTION				
	Interr	ational Preliminar his one to be the l	y Examining IPEA and the	Authority ("IPEA") excer	pt that this does not ap d the International Bu	Il be considered to be a written opinion of the ply where the applicant chooses an Authority other reau under Rule 66.1bis(b) that written opinions of
	If this writte PCIV	s opinion is, as pro en reply together, ISA/220 or before	ovided above, where approp the expiration	, considered to be a writt priate, with amendments of 22 months from the prices.	en opinion of the IPE. , before the expiration	A, the applicant is invited to submit to the IPEA a n of 3 months from the date of mailing of Form expires later.
	For ft	irther options, see	Form PCT/IS	A/220.		
3.	For fu	orther details, see r	notes to Form	PCT/ISA/220.		•
			ICA/ID		Authorized officer	
Name a	nd mail	ing address of the	ISAJP		Authorized officer	
l Errainet	la Na				Telephone No.	

WRITTEN OPINION OF THE INTERNATIONAL SEARCHING AUTHORITY

International application No.
PCT/JP2004/015579

Воз	x No. I Busis of this opinion
1.	With regard to the language, this opinion has been established on the basis of the international application in the language in which it was filed, unless otherwise indicated under this item.
	This opinion has been established on the basis of a translation from the original language into the following language
	, which is the language of a translation furnished for the purposes of international search (under
	Rule 12.3 and 23.1(b)).
2.	With regard to any nucleotide and/or amino acid sequence disclosed in the international application and necessary to the claimed invention, this opinion has been established on the basis of:
	a. type of material
	a sequence listing
	table(s) related to the sequence listing
	b. format of material
	in written format
	in computer readable form
	c. time of filing/furnishing
	contained in the international application as filed.
	filed together with the international application in computer readable form.
	furnished subsequently to this Authority for the purposes of search.
3.	In addition, in the case that more than one version or copy of a sequence listing and/or table(s) relating thereto has been filed or furnished, the required statements that the information in the subsequent or additional copies is identical to that in the application as filed or does not go beyond the application as filed, as appropriate, were furnished.
4.	Additional comments:
1	
ļ	
'	
	· ·
ĺ	
1	

WRITTEN OPINION OF THE INTERNATIONAL SEARCHING AUTHORITY

International application No.
PCT/JP2004/015579

Boy	INTERNATION			PC1/JP2004/0155	
	No. V Reasoned stateme citations and expl	ent under Ru anations sur	ile 43bis.1(a)(i) with regard to novelty, invention such statement	tive step or industrial applicability;	
1.	Statement	^			
	Novelty (N)	Claims	1-4		YES
		Claims			NO
	Inventive step (IS)			,	VEC
	invenieve step (13)	Claims Claims	1-4	•	YES
		Claims			
	Industriał applicability (IA)	Claims	1-4		YES
		Claims			NO
2.	Citations and explanations:				
	Claim 1 The invention describ document 1 (see paragraphs 0007 to 00 and Figs. 1 to 5) cited In particular, docume means, and having de a commonly known to Document 3 describes building. Claim 2 The invention describes	graphs 00 010 and 10 1 in the 15 out 2 description echnologies a secur	cribes a group management app floor display means in a contro	e an inventive step based on d 4 to 5), document 2 (see see paragraphs 0028 to 005 aratus for elevators and dis ol device for an elevator he and the number of persons in e an inventive step based o	3 play re is
	Claims 3-4 The inventions descridocuments 1-3 and de	bed in clocument	laims 3-4 do not appear to invo 5 (see abstract and Fig. 1) cited	lve an inventive step based I in the ISR.	

11581456

特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

出願人代理人 高田 守	REC'D 1 1 AUG 2005
	WIPO PCT
様 あて名 〒160-0007	PCT
東京都新宿区荒木町20番地 インテック88ビル5階	国際調査機関の見解告 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]
特許業務法人 高田·高橋国際特許事務所	^{発送日} (日. 月. 年) 09. 8. 2005
出願人又は代理人 の告類記号 552779WO01	今後の手続きについては、下記2を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP2004/015579 国際出願日 (日.月.年)21.1	優先日 (日.月.年)
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' B66B 1/18	
出願人 (氏名又は名称) 三菱電機株式会社	
それを裏付けるための文献及び説明 第VI欄 ある種の引用文献 第VI欄 国際出願の不備 第VI欄 国際出願に対する意見 2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際即際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいてない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見ての見解告が上記のように国際予備審査機関の見解告と	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 国際調査機関の見解音を国際予備審査機関の見解書とみなさ 解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。 なされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か 期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照する。 さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参	

見解告を作成した日		
21.07.2005	·	
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権限のある職員) 志水 裕司	3F 9528
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101	内線 3351

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

第1欄 見解の基礎	
 1. この見解書は、下	で記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。
この見解むは、それは国際調	、 語による翻訳文を基礎として作成した。 査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。
2. この国際出願で開 以下に基づき見解	日示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 7客を作成した。
a. タイプ	配列表
	配列表に関連するテーブル
b. フォーマット	■ 書面
	コンピュータ読み取り可能な形式
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された
3. さらに、配列 た配列が出稿 あった。	列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 頃時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が
,	
4. 補足意見:	
,	
	·
-I- ×	• • •

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/015579

1. 見解	
新規性(N)	請求の範囲 <u>1-4</u> 請求の範囲
進歩性(IS)	請求の範囲 <u>1-4</u>
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-4 請求の範囲
・ 文献及び説明	
文献2:JP 6-32934 文献3:JP 2001-24 文献4:JP 2004-25	0163 A (三菱電機株式会社) 2002.08.06 4 A (インベンテイオ・アクテイエンゲゼルシヤフト) 1994.11.2 3515 A (日本信号株式会社) 2001.09.07 0191 A (東芝エレベータ株式会社) 2004.09.09 0177 A (三菱電機株式会社) 2002.08.06
2、4-5参照)及び文献2 8-0053及び図1-5参照 特に、上記文献2には、エレへ 制御装置において、行先階床表	は、国際調査報告で引用された文献1(段落番号0010-0017及び図1 段落番号0007-0010及び図1-6参照)並びに文献3(段落番号00)より進歩性を有しない。 一夕の群管理装置及び表示手段について記載されており、ここで、エレベータ 示手段を有することは、周知技術である。 リティゲート及び在館人数計測手段について記載されている。
請求の範囲2 請求の範囲2に記載された発り より進歩性を有しない。	は、上記文献1乃至3及び国際調査報告で引用された文献4(要約及び図1参
より進歩性を有しない。	発明は、上記文献1乃至3及び国際調査報告で引用された文献5(要約及び